

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	21600	総合交通対策事業費		会計	1	一般会計	総合計 画	基本分野	5	基盤・安全	概観計画	高山市地域公共交通網形成計画	市長公約	・北陸新幹線駅や東海北陸自動車道沿線の都市圏と高山市を結ぶ広域公共交通の整備・充実を関係機関に要請し、実現します。誰もが気軽に遠くに出かけられたり、訪れやすくなるために、JR高山本線、北陸新幹線、高速バスなどの広域公共交通網と市内公共交通網のネットワークを充実します。 ・路線バス、自主運行バス(まちなみバス、のらマイカー)などの運行形態を見直し、市民の足の確保に努めます。
担当課	基盤整備部 都市整備課		款	2	総務費	個別分野		3	公共交通	実施計画事業				
	内線	2363	項	1	総務管理費	施策の概要		12	地域公共交通の利便性の向上 広域的な公共交通の利便性の向上	H29実施計画額	200,000 千円			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共交通利用者(市民、観光客等)	どうしたいのか(意図)	・多くの市民や観光客等に公共交通が利用されている ・路線の充実や円滑な乗り継ぎなど、利便性の高い公共交通が確保されている ・将来に渡って、持続可能な公共交通サービスが提供されている	概要	事業の実施手法(手段)	・効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築 ・地域バス(のらマイカー)、中心市街地バス(まちなみバス)の運行 ・事業者や関係団体との連携による公共交通利用促進策の展開 ・同盟会活動による高山本線の輸送力強化やエリア中央新幹線の建設促進 ほか
	対象者数	178,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市公共交通活性化協議会の開催(H27.5、H27.8、H28.2)</li> <li>・降車専用区間の新設など効率化を図ったほか、デマンドタクシーの増便など利用増のための見直しを実施</li> <li>・利用促進策の実施(のりものフェスタ、ガイド付きバス、ギャラリーバス、時刻表・企画切符作成ほか)</li> <li>・H27延べ利用者数 のらマイカー 127,380人、まちなみバス 37,593人</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		路線数		路線	目標値	30	30	30	30	30
		算出根拠等			実績値	30	-	-	-	-
		達成率(%)			100	-	-	-	-	-
		高山市公共交通活性化協議会による利用促進・啓発事業数		事業	目標値	28	29	-	-	-
	算出根拠等			実績値	28	-	-	-	-	
	達成率(%)			100	-	-	-	-	-	
	成果指標	延べ利用者数(自主運行バス)		人	目標値	178,000	178,000	178,000	178,000	178,000
		算出根拠等			実績値	164,973	-	-	-	-
		達成率(%)			93	-	-	-	-	-
自主運行バス(まちなみバス)平均利用者数(1便あたり)		人	目標値	6	6	6	6	6		
算出根拠等			実績値	5	-	-	-	-		
達成率(%)			88	-	-	-	-	-		
自主運行バス(のらマイカー)平均利用者数(1便あたり)		人	目標値	5	5	5	5	5		
算出根拠等			実績値	4	-	-	-	-		
達成率(%)			78	-	-	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数を増加させる効果的な利用促進策の展開</li> <li>・運行の効率化等を図るための評価・分析による、路線・運行方法等の見直し</li> <li>・鉄道の増便など利便性向上につながる広域連携による取組み</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意見の聴取、見直しに向けた説明会等の開催</li> <li>・利用促進策の展開(のりものフェスタは、市政施行80周年記念事業として内容を拡大して実施)</li> <li>・デマンド化、少量輸送体制の導入を含めた運行方法見直し、観光振興に資する地域公共交通の充実に向けた検討</li> <li>・同盟会を通じた鉄道会社に対する要望活動の実施</li> </ul>	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	
	拡大	・デマンド化を含めた運行方法見直しや少量輸送体制の検討など、効率的で利便性の高い地域公共交通システムの構築に取組む
	縮小	・今後も同盟会を通じて、鉄道会社に対して要望活動を行う
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	200,103	199,387	203,794	204,554	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,220	1,209	1,145	1,149	
	受益者	公共交通利用者(市民、観光客)	(B)	164,063	164,973	178,000	178,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市コミュニティバス「まちなみバス」「のらマイカー」の運営</li> <li>・各種同盟会による要望活動</li> </ul>	要求のポイント	・地域公共交通の利便性向上	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進策の強化(運賃収入の確保)</li> <li>・運行方式の見直し、少量輸送サービスの導入等の検討</li> </ul>
------	--	---------	---------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	203,794	204,554	760	192,994	192,994	・積算内容を精査 ・高根地域の自主運行移行に伴う支援を計上	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	14,000	14,000	0	14,000	14,000		
	その他			0				
	一般財源	189,794	190,554	760	178,994	178,994		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	41510	アスベスト対策事業費	会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画		市長公約
			款	4	衛生費	個別分野	2	生活環境	実施計画事業	アスベスト対策事業	
担当課		基盤整備部 都市整備課	項	1	保健衛生費	施策の概要	3	公害対策の強化	H29実施計画額	5,000 千円	
		内線 2330	目	5	生活環境費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	補助対象建築物の所有者又は管理者	どうしたいのか(意図)	アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・民間事業者が実施するアスベスト含有調査及びアスベスト除却等に対して助成する
	対象者数	—					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>含有調査3件</li> <li>除去等 1件</li> <li>制度周知 広報たかやま 市内の事業者及びアスベスト含有が確認されている建築物の所有者への助成制度活用の周知</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		アスベスト含有調査件数		件	目標値	4	4	4	4	4
		実績値			3	—	—	—	—	
		算出根拠等	含有調査実施件数/目標件数	達成率(%)	75	—	—	—	—	
		アスベスト除却等件数		件	目標値	2	2	2	2	2
	実績値			1	—	—	—	—		
	算出根拠等	除去等実施件数/目標件数	達成率(%)	50	—	—	—	—		
				目標値						
				実績値						
	算出根拠等			達成率(%)						
成果指標	アスベスト除却等件数(累計)		件	目標値	14	16	18	20	22	
	実績値			9	—	—	—	—		
	算出根拠等	除去等実施件数/目標件数	達成率(%)	64	—	—	—	—		
				目標値						
				実績値						
算出根拠等			達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・大規模な建築物の所有者への周知・意向調査は概ね終了したため、更なる制度利用者の増加に向け、施工業者等にも助成制度の周知・意向調査が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況		・制度周知のため、引き続き広報たかやまへの掲載や、施工業者等に向けて意向確認を行う。
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載など積極的なPRを行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 2,435	2,510	5,000	5,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 608,750	627,500	1,000,000	1,000,000	
	受益者	補助申請者数	(B) 4	4	5	5

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	アスベスト含有調査費に対する助成 アスベスト除却工事費に対する助成 調査・除却に向けた啓発活動	要求のポイント	アスベストによる市民の健康被害を防止するために必要な経費を計上	事業実施の課題	アスベスト除却の指導をしている県と連携が必要 アスベストが吹き付けられている建築物所有者に対する除却工事実施の啓発
------	---	---------	---------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	3,000	3,000	0	3,000	3,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74100	都市計画推進事業費		会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	概観計画	高山市都市基本計画、高山市景観計画		市長公約
担当課	基盤整備部 都市整備課	内線	2317	款	7	土木費	個別分野	1	土地利用	実施計画事業	都市計画推進事業		
				項	4	都市計画費	施策の概要	13	総合的な土地利用 地域特性を活かす土地利用	H29実施計画額	46,000 千円		

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市が健全に発展し、秩序ある整備を図ることができる状態にする</li> <li>・空家等が適正に管理、活用される状態にする</li> <li>・建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等により、良質な居住環境を整備する</li> <li>・市有建築物を安全・快適に利用できるようにする</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画制度の活用等による土地利用の規制、誘導を実施する</li> <li>・市民連携による総合的な空家等対策の推進</li> <li>・景観計画の基準の見直し、景観重点区域の拡大、景観重要建造物の指定を行う</li> <li>・建築確認及び各届出による確認を実施する</li> <li>・公共建築工事に係る設計及び監理業務等を委託する</li> <li>・定期調査及び報告業務を委託する</li> </ul>
	対象者数	90,024 人				

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い町並界線の車両進入制限を含めた交通体系のあり方に関する地域との協議</li> <li>・建築確認申請(市)16件、建築確認申請(県)7件、完了検査申請18件、位置指定道路14件、都市計画法第53条許可申請等3件</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届15件、中規模開発計画100件、小規模開発計画38件、景観重点区域行為届出110件</li> <li>・市有建築物の改修等に係る設計監理業務の委託</li> <li>・市有建築物の定期調査及び報告業務の委託</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		建築確認申請件数		件	目標値	100	100	100	100	100
		算出根拠等			実績値	58	-	-	-	-
		確認、完了、位置指定等件数		件	達成率(%)	58	-	-	-	-
		美しい景観と潤いのあるまちづくり条例による届出件数		件	目標値	180	180	180	180	180
		算出根拠等			実績値	263	-	-	-	-
	成果指標	設計及び監理業務等委託発注件数		件	目標値	10	10	10	10	10
		算出根拠等			実績値	15	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	150	-	-	-	-
		算出根拠等			目標値	-	-	-	-	-
		算出根拠等			実績値	-	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増加傾向にある空家等の適正管理と活用促進に向けた取り組みを進める</li> <li>・各種申請に対する職員の審査の能力の維持及び向上、違反建築物に対する適正な指導</li> <li>・市民、建築関係事業者等に対する景観基準の積極的な周知。区域の状況に合わせた基準の強化や緩和</li> <li>・市有建築物の管理主体(指定管理者)との責任分担の範囲を明らかにし、必要な経費のみ負担する</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 維持・改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等調査により実態を把握し、市民連携により総合的な対策を進めるための「空家等対策計画」の策定に取り組む</li> <li>・職場内研修により各種申請に対する職員の審査能力の向上を図ると共に、建築行政マネジメント計画に基づいた違反建築物の指導、ハトロールを行う</li> <li>・建築関係団体に対して引き続き景観基準の周知を図る。開発基準等について宅建協会や行政書士会向けの研修会等を開催することにより、届出書の審査期間の短縮、事務の効率化を図る</li> <li>・公共建築工事の品質確保の取り組みを継続しつつも、コスト削減に向けた課題を整理する。企画、概算段階から参画し、良質な工事実施に取り組む</li> </ul> </li> <li>○ 拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画について、美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会等の意見を聴きながら、見直しの検討を進める</li> <li>・引き続き、職員研修を進め、各種申請に対する審査能力の維持及び向上を図るとともに、違反建築物への指導効果の体制を構築する。</li> <li>・市民に対する景観基準の周知に加えて、建築関係事業者、宅建協会や行政書士会に対して景観基準、開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会を開催し、基準の遵守や手続きの円滑化を促進する</li> <li>・早期発注に努めるとともに効率的で効果的な業務委託の発注を行うことに取り組む</li> </ul> </li> <li>○ 縮小</li> <li>○ 廃止検討</li> </ul>
----------------	---

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	22,027	11,501	24,183	67,833
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	58,896	35,829	86,368	242,261
	受益者	届出者・申請者	(B)	374	321	280

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画関係研修への参加、都市計画審議会の開催</li> <li>・建築確認申請等の受付、審査等</li> <li>・まちづくり審議会の開催、建築確認、開発許可申請等の受付・審査等</li> <li>・美しい景観と潤いのあるまちづくり条例に関する説明会、宅建協会等に対する勉強会の実施</li> <li>・市有建築物の改修・改修等にかかる設計及び監理業務の委託</li> <li>・無電柱化推進市区町村会議への参画</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な空家等対策の推進にかかる事業費を計上</li> <li>・都市計画、景観行政、開発許可等による総合的な土地利用の推進に必要な事業費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、建築関係団体等への景観基準等の周知と遵守の啓発</li> <li>・市有建築物の管理主体(指定管理者)との責任分担範囲の明確化</li> <li>・ランニングコストを考慮した適切な施設の設計</li> <li>・空家等対策計画に基づく、関係団体等との連携による空家等対策の推進</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	--

財源内訳	事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	24,183	67,833	43,650	64,027	64,027	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	6,500		△ 6,500				
	県支出金	65	75	10	65	65		
	その他	1,262	820	△ 442	1,262	1,262		
一般財源	16,356	66,938	50,582	62,700	62,700			

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74120	建築物耐震対策事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	概観計画	高山市耐震改修促進計画	市長公約 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
			款	7	土木費	個別分野	4	住宅公園	実施計画事業	建築物耐震対策事業	
担当課		基盤整備部 都市整備課	項	4	都市計画費	施策の概要	1	良質な住宅環境の整備	H29実施計画額	46,600 千円	
		内線 2317	目	1	都市計画総務費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内にある建築物の所有者	どうしたいのか(意図)	平成36年度までに住宅や一定用途・規模以上の建築物に関して耐震化率95%以上とするため、耐震診断及び耐震補強工事に対する助成制度を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを目指す	概要	事業の実施手法(手段)	耐震診断及び耐震補強工事に対する補助を行う ・広報たかやま、戸別訪問による耐震化の啓発 ・耐震診断士への説明会の開催 ・耐震診断実施者へのフォロー
	対象者数	-					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・木造戸建て住宅耐震診断 46件 ・建築物耐震診断 4件 ・伝統構法木造建築物耐震診断 4件	・木造住宅耐震補強工事 5件 ・伝統構法木造建築物耐震補強工事 2件 ・特定建築物耐震補強工事 1件						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		耐震診断実施件数	件	目標値	120	123	123	123	123
				実績値	54	-	-	-	-
		算出根拠等	耐震診断実施件数/目標件数	達成率(%)	45	-	-	-	-
		耐震補強工事実施件数	件	目標値	21	20	20	20	20
				実績値	8	-	-	-	-
	成果指標	算出根拠等	耐震補強実施件数/目標件数	達成率(%)	38	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
		住宅の耐震化率		目標値	80	80	80	80	80
				実績値	65	-	-	-	-
算出根拠等	耐震強度を満たす住宅/全戸数	達成率(%)	81	-	-	-	-		
		目標値							
		実績値							
算出根拠等		達成率(%)							
		目標値							
		実績値							
算出根拠等		達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・木造住宅耐震診断実施者の増加を図るため、継続的に啓発活動を行う。 ・耐震診断実施者が耐震補強工事につながるよう、個別相談会などのフォローアップを行う。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用した耐震化を図るため、診断者の育成と制度の周知を図る。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・高山市耐震改修促進計画の見直し(年度内) ・木造住宅耐震相談士説明会の実施 ・耐震診断実施者への耐震補強工事に関する個別相談会の実施 ・伝統構法木造建築物も含めた耐震関係事業全般の啓発(広報たかやま、戸別訪問、町内会への周知等)	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	
	拡大	・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。
	縮小	・耐震診断実施者が耐震補強工事につながるよう、個別相談会などのフォローアップを行う。
	廃止検討	・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルを活用して、伝統構法木造建築物耐震化の一層の促進を図る。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	22,530	33,856	47,510	51,410	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	512,045	546,065	332,238	354,552	
	受益者	申請者	(B)	44	62	143	145

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・木造住宅耐震診断委託 ・伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成 ・建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成 ・木造住宅耐震補強工事に対する助成 ・伝統構法木造建築物耐震補強工事に対する助成 ・耐震啓発に関する活動	要求のポイント	・建築物耐震補強工事に対する助成にかかる経費を計上 ・伝統構法木造建築物耐震診断及び耐震補強工事に対する助成にかかる経費を計上	事業実施の課題	・耐震補強工事は工事費が高額となるため、耐震診断や耐震補強工事を敬遠する傾向がある ・伝統構法木造建築物に係る技術者・技能者の確保・育成 ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断義務化に関する検討 ・耐震改修促進計画の見直し(累計見直しに伴うもの) ・耐震化を図るためのより効果的な啓発活動の検討
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	47,510	67,670	20,160	65,110	65,110	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	8,600	10,619	2,019	12,300	12,300		
県支出金	7,000	7,564	564	9,500	9,500		
その他			0				
一般財源	31,910	49,487	17,577	43,310	43,310		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74500	緑地保全推進事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	高山市緑の基本計画	市長公約
			予算	款	7	土木費		個別分野	1	地球環境	実施計画事業	緑地保全推進事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費		施策の概要	1	自然環境の保全と活用	H29実施計画額	16,800 千円	
			2312	目	5	景観保全総務費							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・潤いやすらぎを感じることができる緑豊かな環境の保全・創出・活用を推進し、市民誰もが緑の恵みを受けられる環境を整備する。 ・緑化意識の高揚を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・施設緑化用苗木の配付、緑と親しむ日等におけるイベントの開催 ・市街地周辺の里山の取得 ・間伐等による適正管理 ・里山保全に協力する所有者の拡大と奨励金の交付 ・市指定保存樹等の管理に対する助成
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・松倉山市民ハイキング(6月7日)、結婚記念樹配付(6月16日～17日)の実施</li> <li>・里山保全に協力する所有者に対して奨励金を交付</li> <li>・市指定保存樹等の管理に対する助成</li> </ul>								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		緑と親しむ日等に実施したイベント回数		回	目標値	3	3	2	2	2
		算出根拠等		実施回数/計画回数	実績値	3	-	-	-	-
		里山奨励金の件数		件	達成率(%)	100	-	-	-	-
		算出根拠等		支出回数/契約回数	目標値	72	72	72	72	72
	保存樹等管理助成件数		件	実績値	67	-	-	-	-	
	算出根拠等		支出件数/契約件数	達成率(%)	93	-	-	-	-	
	算出根拠等		支出件数/指定件数	目標値	35	35	35	35	35	
	算出根拠等		支出件数/指定件数	実績値	24	-	-	-	-	
	算出根拠等		支出件数/指定件数	達成率(%)	69	-	-	-	-	
成果指標	緑と親しむ日等に実施したイベント参加人数		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	算出根拠等		イベント参加人数	実績値	911	-	-	-	-	
	算出根拠等		イベント参加人数	達成率(%)	91	-	-	-	-	
	里山購入面積		m <sup>2</sup>	目標値	10,000	60,000	60,000	60,000	60,000	
	算出根拠等		里山取得面積/取得計画面積	実績値	0	-	-	-	-	
算出根拠等		里山取得面積/取得計画面積	達成率(%)	0	-	-	-	-		
算出根拠等		里山取得面積/取得計画面積	目標値							
算出根拠等		里山取得面積/取得計画面積	実績値							
算出根拠等		里山取得面積/取得計画面積	達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・緑と親しむ日等に実施するイベントについては、事業主体の見直しも含めて実施する必要がある。 ・里山の取得については、費用対効果の検討も含めて適正な価格を設定し、交渉する必要がある。
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・里山取得については、開発行為が行われそうな、市街地からの景観上重要な箇所を選定し交渉を行う。	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	
	拡大	・結婚記念樹の配布事業は29年度より廃止 ・里山取得については、適正な価格に基づいた地権者との交渉を進める。
	縮小	・緑の保全契約奨励金については、所有者等の適切な把握をするともに引き続き契約の啓発を図る。 ・保存樹等の管理補助金についても引き続き適正な助成に努める。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26決算額	H27決算額	H28予算額	H29予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	15,614	5,351	17,800	17,173	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	170	58	198	191	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	91,605	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・市民の緑化意識の高揚を図るためのハイキング等イベントの実施 ・補助金を活用した緑化推進及び緑地保全 ・市街地を取り囲む里山取得及び管理	要求のポイント	・緑化意識の高揚につなげるため継続的な緑化推進に関するイベントの実施に係る経費を計上 ・民間による緑地保全及び緑化を推進するため保全契約及び保存樹等に係る経費を計上 ・市街地から見た里山の景観を保全するため里山取得及び管理に係る経費を計上	事業実施の課題	・保存樹にふさわしい樹木を指定するには、保存樹の要件として必要な「健全かつ自然環境上保護が必要」であるかどうかについて専門家の意見を聞いた上で判断する必要がある。 ・里山取得に対する市民の理解を得る必要がある。 ・今までに里山として取得した山林については、購入してから手入れがされていないのが現状であるが、一昨年度の豪雪による倒木等で被害を及ぼした経緯もあり、適切な管理(除間伐など)の必要がある。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	17,800	17,173	△ 627	17,050	17,050	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	2,000	1,690	△ 310	2,000	2,000		
	その他	11,742	11,725	△ 17	1,725	1,725		
	一般財源	4,058	3,758	△ 300	13,325	13,325		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74510	景観保全奨励事業費		会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	高山市景観計画、高山市歴史的風致維持向上計画	市長公約
			予算	款	7	土木費	個別分野	3	景観	実施計画事業	景観保全奨励事業	
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	4	都市計画費	施策の概要	1	個性ある景観の保全・活用	H29実施計画額	28,300 千円	
			2317	目	5	景観保全総務費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市街地景観保存区域における保存活動を支援することにより、美しい景観の保全・創出を図る ・景観保全に係る補助を実施することにより、美しい景観の保全・創出を図る ・屋外広告物条例に基づき、適正な屋外広告物の掲出を指導する	概要	事業の実施手法(手段)	・市街地景観保存区域の拡大及び保存会の活動に対して補助する ・景観保全に係る事業に対して補助する ・屋外広告物の許可申請事務を行う ・景観デザイン賞の表彰を行う
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域保存会助成 13件</li> <li>市街地景観保存区域内建築物修景助成 12件</li> <li>景観重要建築物修景補助 2件</li> <li>高山の景観にふさわしい看板補助金 6件</li> <li>生けがき等設置補助金 1件</li> <li>景観形成事業(塀等設置)補助金 3件</li> <li>屋外広告物新規許可 299件</li> <li>屋外広告物更新許可 559件</li> <li>屋外広告物変更許可 2件</li> <li>景観デザイン賞表彰事業(応募件数 10件) 建築物の部 奨励賞 2件 特別賞 1件</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		市街地景観保存区域保存会助成件数		件	目標値	13	14	14	14	14
		算出根拠等			実績値	13	-	-	-	-
		算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-
		市街地景観保存区域内建築物修景等助成件数		件	目標値	33	35	35	35	35
		算出根拠等			実績値	24	-	-	-	-
	算出根拠等			達成率(%)	73	-	-	-	-	
	屋外広告物許可件数(新規・更新・変更)		件	目標値	710	710	710	710	710	
	算出根拠等			実績値	860	-	-	-	-	
	算出根拠等			達成率(%)	121	-	-	-	-	
	景観重要建築物指定件数(累計)		件	目標値	10	10	10	10	10	
	算出根拠等			実績値	12	-	-	-	-	
算出根拠等			達成率(%)	120	-	-	-	-		
景観重点区域数(累計)		区域	目標値	17	17	17	17	17		
算出根拠等			実績値	14	-	-	-	-		
算出根拠等			達成率(%)	82	-	-	-	-		
市街地景観保存区域数(累計)		区域	目標値	13	13	13	13	14		
算出根拠等			実績値	13	-	-	-	-		
算出根拠等			達成率(%)	100	-	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築関係団体に景観基準が十分周知・理解されていないケース等があるため、建築関係団体及び景観保存会に対して積極的に景観基準の周知が必要である。</li> <li>市街地景観保存区域の更なる拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。</li> <li>違反広告物、既存不適格広告物の所有者及び管理者への許可基準の周知及び基準遵守の指導の強化</li> <li>景観保全を行うにあたり既存条例では指導できない問題が生じているため、保存会と市が協働して当該問題解決の手法を検討する必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前地区における、高山の景観にふさわしい看板設置推進事業の拡充</li> <li>広報紙による制度周知や、市街地景観保存区域建築物の修景工事に係る意向調査</li> <li>景観重要建築物の積極的な指定及び保存・活用の推進</li> <li>違反広告物及び不適格広告物(条例適用時に適合しない部分がある広告物)に対する指導強化</li> </ul>	
課の担当 次年度の考え方	○維持・改善	市街地景観保存区域建築物の修景工事に係る意向調査を行い、効率的な補助金の活用を進める。
	拡大	市街地景観保存区域の拡大に向けて、対象とする地域住民と協議し、合意形成を進める。
	縮小	景観形成に意識が高い住民が主体となって景観保存活動を行う団体に対して制度活用を勧め、併せて景観デザイン賞の制度の活用により美しく潤いのある景観を創出した者を積極的に表彰する。
	廃止検討	景観重要建築物の指定を積極的にを行い、保存・活用を図る。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・修正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	21,953	22,476	30,413	80,464	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	239	247	338	894	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業(市街地景観保存区域保存会補助金、市街地景観保存区域建築物補助金)</li> <li>補助事業(高山の景観にふさわしい看板補助金、生けがき等設置補助金、一般開放型便所改修補助金、景観形成事業(塀等設置)補助金、景観重要建築物補助金)</li> <li>屋外広告物許可申請業務等に係る事務費</li> <li>加入景観団体等への負担金</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地景観保存区域14保存会への補助額を計上</li> <li>高山の景観にふさわしい看板設置推進事業の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度より新設の市街地景観保存区域内建築物への修景補助の周知に伴い、多くの利用相談があるため、助成利用者と工事実施時期や工事内容などの協議が必要である。</li> <li>建築関係団体等に景観基準が十分理解されていないケースがあるため、それらの団体に対する景観基準の周知が必要である。</li> <li>市街地景観保存区域の拡大に向けて、地域住民との合意形成が必要である。</li> <li>景観保全を行うにあたり既存条例では指導できない問題が生じているため、保存会と市が協働して当該問題解決の手法を検討する必要がある。</li> <li>違反広告物及び不適格広告物(条例適用時に適合しない部分がある広告物)に対する指導強化。</li> <li>助成制度の周知に伴い多くの利用相談があるため、助成利用者と工事実施時期や工事内容などを協議しながら実施する必要がある。</li> <li>景観重要建築物の積極的な指定及び保存・活用の推進。</li> </ul>
------	--	---------	---	--

財源内訳	事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
	歳出(千円)	34,913	80,464	45,551	83,743	83,743	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金	13,050	34,200	21,150	35,080	35,080		
	県支出金	38	30	△ 8	30	30		
	その他	5,014		△ 5,014	9,900	9,900		
一般財源	16,811	46,234	29,423	38,733	38,733			

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74600	公園管理事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	高山市緑の基本計画	市長公約
			款	7	土木費	個別分野		4	住宅公園	実施計画事業	公園管理事業		
担当課	基盤整備部 都市整備課		項	4	都市計画費	施策の概要		3	利用しやすく特色ある公園づくり	H29実施計画額	120,000 千円		
	内線	2312	目	6	公園管理費								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	市民や観光客が公園やまちかどスポットを安心・安全・快適に利用できるよう施設管理する。	概要	事業の実施手法(手段)	・都市公園及び地区公園の改修と維持管理 ・まちかどスポットの維持管理 ・市道の街路樹の維持管理
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園36箇所及び地区公園39箇所の維持管理</li> <li>・まちかどスポット107箇所の維持管理</li> <li>・市道(48路線)の街路樹の維持管理</li> <li>・公園・スポットの改修整備</li> <li>・街路樹の改修整備</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		都市公園及び地区公園不具合等処理件数		件	目標値	0	0	0	0	0
		算出根拠等		処理件数/要望件数	実績値	29	-	-	-	-
					達成率(%)	-	-	-	-	-
		保全・維持管理面積		ha	目標値	128	128	128	128	128
		算出根拠等		供用面積	実績値	128	-	-	-	-
	成果指標				達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		公園利用満足度		%	目標値	100	100	100	100	100
		算出根拠等		モニタリング調査結果	実績値	93	-	-	-	-
					達成率(%)	93	-	-	-	-
			目標値	10	10	10	10	10		
住民一人当たりの都市公園面積		m <sup>2</sup>	実績値	9	-	-	-	-		
算出根拠等		都市公園面積/住民人口	達成率(%)	88	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値							
算出根拠等			達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期的な点検を行い、必要に応じて修繕、改修を行い、安全で安心して利用できる公園として管理していく必要がある。</li> <li>・モニタリング調査で得られた意見を参考にし、市民ニーズに応えられるよう管理していく必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具等の公園施設は、緊急度や利用度の高いものから順次修繕を実施している。</li> <li>・管理面においては、注意看板の設置など市民ニーズに応えられる内容のものは積極的に対応している。</li> <li>・公共施設街路樹管理に対する方針を定めコスト縮減と適正管理を図る。</li> </ul>	
次年度の担当課の考え方	○維持・改善	
	拡大	・遊具、植栽等の公園施設の点検を継続的に行い、安心して利用できる公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な維持管理に努める。
	縮小	・引き続き指定管理者による効率的な施設管理を行う。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	96,696	109,023	120,178
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,217	1,190	1,335
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	91,605
				90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園、地区公園、まちかどスポット及び街路樹の適正な管理</li> <li>・都市公園、地区公園工事改修等、突発工事</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や観光客が公園やまちかどスポットを安心安全、快適に利用できるようなための必要な経費を計上</li> <li>・街路樹根上り対策などバリアフリー対策工事について予算計上</li> <li>・安心安全に公園を利用してもらうための危険箇所の対策工事について予算計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の剪定方法について、植生を踏ませた検討が必要である。</li> <li>・公園を適正に管理するために使用している公園管理備品の老朽化が著しく、順次更新が必要である。</li> <li>・公園整備後、経年劣化により施設の修繕箇所が増加している。</li> <li>・街路樹や公園樹木の根上がりによる危険箇所が増加している。</li> <li>・安全対策のため、城山公園を初めとする山林のある公園の腐朽危険木の伐採が毎年必要である。</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		120,178	131,842	11,664	121,458	121,458	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	400	659	259	400	400		
	一般財源	119,778	131,183	11,405	121,058	121,058		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	74700	歴史的環境保全整備事業費	会計	1	一般会計	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	高山市歴史的風致維持向上計画	市長公約
			款	7	土木費	個別分野	4	住宅公園	実施計画事業	歴史的環境保全整備事業	
担当課		基盤整備部 都市整備課	項	4	都市計画費	施策の概要	3	利用しやすい特色ある公園づくり	H29実施計画額	10,000 千円	
		内線	目	7	快適環境整備費						
		2312	予算			総合計画					

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・人が集えるまちかどスポットを適正に配置し、市街地の利便性を高め周遊性の向上を図る ・まちかどの歴史的風致の向上を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・休憩施設や情報掲示施設等を備えたまちかどスポットを「憩いの場」として整備する
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・憩いの場整備工事(3件)								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		憩いの場整備箇所数		箇所	目標値	3	3	3	3	3
		算出根拠等		整備箇所/計画整備箇所	実績値	3	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・老朽化したスポットを改修するだけでなく、新たな交流・休憩場所として地域住民に親しまれる施設へ変換する必要がある ・これまで整備した「周遊ルート」との相乗効果が得られる、整備内容と箇所の選定が必要である
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・まちかどスポット「憩いの場」の整備については、近隣住民や関係団体と打合せを行い、意見やアイデアを反映した設計とすることとしている	
課の考え 次年度の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・憩いの場整備事業の計画に基づき、事業を実施する
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	9,245	9,289	10,000	10,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	101	101	111	111	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	91,605	90,024	90,024

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・憩いの場整備	要求のポイント	・憩いの場整備の事業計画に基づき整備に必要な経費を計上 ・まちかどの休憩施設の充実を図る	事業実施の課題	・市街地には休憩施設が不足しているため、休憩施設の拡充が求められている ・地域住民、町並保存会など様々な意見をまとめ、工事に反映することが必要である ・当該整備においては、伝統的技法や地場産材を有効活用する必要がある
------	---------	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	10,000	0	10,000	10,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	4,500	4,500	0	5,000	5,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,500	5,500	0	5,000	5,000		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	75100	市営住宅管理事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	概観計画	市営住宅整備計画	市長公約	
			予算	款	7	土木費		個別分野	4	住宅公園				
担当課	基盤整備部 都市整備課		内線	項	5	住宅費		施策の概要	2	市営住宅の効果的・効率的な供給と管理	実施計画事業	市営住宅管理事業		
			2312	目	1	住宅管理費					H29実施計画額	110,000 千円		

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市営住宅入居者	どうしたいのか(意図)	・住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る ・市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の快適化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・入居者からの相談対応等の実施 ・指定管理者との役割分担のもと、市営住宅の維持管理を行う。 ・立地場所の需要に見合った供給量を確保し、住宅の適正配置を行う。 ・計画的な整備工事を実施する。
	対象者数	806 世帯					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績		・内覧会の実施、現状渡しルール導入など入居募集方法の見直し ・滞納整理業務の強化(連帯保証人への通知、支所との連携)による徴収率目標達成 ・指定管理者との連絡を密にした維持管理対応									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		家賃徴収率		%	目標値	95	95	95	95	95	95
		算出根拠等			実績値	96	-	-	-	-	-
		算出根拠等		納付金額/現年度調定額	達成率(%)	101	-	-	-	-	-
		市営住宅 入居募集回数		回	目標値	4	4	4	4	4	4
		算出根拠等		広報たかやま掲載回数	実績値	5	-	-	-	-	-
	成果指標	市営住宅入居率		%	目標値	90	90	90	90	90	90
		算出根拠等		入居戸数/住宅全戸数	実績値	81	-	-	-	-	-
		市営住宅利用満足度		%	目標値	100	100	100	100	100	100
		算出根拠等		モニタリング調査結果	達成率(%)	87	-	-	-	-	-
		算出根拠等			目標値						
		算出根拠等			実績値						

## 3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 ・滞納傾向にある居住者への早期指導と連帯保証人を含めた滞納整理の強化が必要である。 ・悪質滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。
-----------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・住宅毎のニーズを調べるにより、配置の適正化に向けた検討を進める。	
課の考え方 次年度の担当	○ 維持・改善	
	拡大	・指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。
	縮小	・地域の実情に合わせて、配置の適正化を検討する。
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 130,356	109,073	110,158	146,545	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 161,132	134,824	136,672	181,818	
	受益者	市営住宅入居者 (B)	809	809	806	806

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市営住宅三福寺団地家賃借上 ・市営住宅土地借上 ・市営住宅の維持管理委託等 ・市営住宅の適正な維持修繕及び改修工事	要求のポイント	・市営住宅を適正に管理するための予算を計上 ・老朽化の著しい住宅等の改修に必要な経費を計上	事業実施の課題	・指定管理者との連携を密にした維持管理や修繕の実施が必要である。 ・地域の需要に応じたバランスの良い住宅の供給が必要である。 ・総合計画に基づく次期管理計画の策定が必要である。
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	110,158	146,545	36,387	106,095	106,095	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	80,158	77,810	△ 2,348	80,095	80,095		
	一般財源	30,000	68,735	38,735	26,000	26,000		